

事務事業チェックシート

事務事業No 723 事業名 観光基盤整備事業（観光案内版の増設等）

[事業基本情報]

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	3	観光の振興
施策	1	観光客受入体制の整備
基本方針	2	観光基盤施設の保全・充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		商工費
	項		観光費
	目		観光振興費
	大事業		観光振興事業
事項		観光基盤整備事業	

事業種別		主な事務事業
事業期間	H20	～
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	観光課	西川 隆博 (435-1234)
関連課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
	○			
44の約束	歴史・文化のストーリーをアピール、うんちく案内板設置、観光ガイド養成機関の設立、観光コンシェルジュ			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	安全、安心で快適な観光施設の整備を進め、おもてなしの向上を図る。	主な事業としては、観光案内版の整備と友ヶ島島内施設の整備がある。昨年度の事業内容については以下のとおり。 ○観光案内版の設置・修繕 既設看板（10か所13枚）の板面内容の更新及び新規設置（2基）を行い、板面内容の統一を図った。また、観光案内を行う揭示板（1基）を新設し、観光情報の発信強化を図った。 ○友ヶ島島内施設の整備 友ヶ島島内パイオトイレの整備を行い、4件の内3件については処理層の増設を行い、残りの1件については汲取り式のトイレをパイオトイレに改修し、観光客の利便向上を図った。 ○調査設計委託				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		○友ヶ島野奈浦浅橋架替工事着手	○友ヶ島のパイオトイレを含む市内10箇所の観光トイレ整備 ○観光案内版の更新・新設	○観光案内版の更新・新設	○観光案内版の更新・新設 ○友ヶ島島内施設の整備 ○調査設計委託	○観光案内版の更新・新設 ○友ヶ島島内施設の整備 ○調査設計委託

2 事業コスト

		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費等 千円	事業費	150,160	49,458	78,423	75,017	15,778		15,778		15,778	
	伸び率 (%)	-	-	-47.8%		-79.9%		0.0%		0.0%	
	人件費	常勤職員	6,259	6,629	6,629	6,483	6,483		6,483		6,483
		非常勤職員	0	0	0	0					
		小計	6,259	6,629	6,629	6,483	6,483		6,483		6,483
	国庫支出金					5,659		5,659		5,659	
	県支出金	15,000	0	39,211	37,507	3,100		3,100		3,100	
	市債	78,700	36,900								
	その他										
	一般財源（税等）	56,460	12,558	39,212	37,510	7,019		7,019		7,019	
所要人数	常勤職員	0.84	0.87	0.87	0.87	0.87		0.87		0.87	
	非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0		0	
主な予算内訳		看板等製作委託料 9,200千円									

3 目標及び実績

	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	単位	件	全体目標値	全体目標達成度	年度目標値	実績値	年度別達成度	年度別達成度	年度別達成度	
活動指標	観光案内版の整備				年度目標値					
					実績値	0	16			
	友ヶ島島内施設の整備				年度目標値					
					実績値	1	4			
成果指標	年間観光客数				年度目標値	680	615	632	649	666
					実績値	610	618			
					年度別達成度	89.7%	100.5%			
	友ヶ島来島者数				年度目標値	22,000	30,000	48,000	56,000	64,000
					実績値	31,634	39,334			
					年度別達成度	143.8%	131.1%			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>快適で安全な観光地づくりに取り組み、本市の観光資源の魅力を向上させることは、多くの観光客を誘客し、本市の経済波及効果に大きく寄与することから、観光施設の整備を充実させていく必要がある。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>観光案内板の新設や、古くなった案内板の修繕を充実させ、おもてなしの向上を図る。また、友ヶ島島内においては、築35年が経過し、潮風の影響から老朽化が激しい野奈浦栈橋の架替工事や、倒木や落石の除去、安全な遊歩道の確保、急増するケガ人や急病人に対応するためのドクターヘリの着陸場の整備など、観光客の安全に努めていく。</p>